

Hubert Robert

Les jardins du Temps

ユベール・ロベール

時間の庭



2012年3月6日(火) — 5月20日(日)



国立西洋美術館

The National Museum of Western Art

[東京・上野公園]

開館時間: 午前9時30分—午後5時30分(金曜日は午後8時まで) / 入館は閉館の30分前まで
休館日: 月曜日 *ただしゴールデンウィーク(4月28日—5月6日)は休まず開館します
主催: 国立西洋美術館、東京新聞
学術協力: ヴァランス美術館 後援: フランス大使館
協力: エールフランス航空、東京日仏学院、西洋美術振興財団

Hubert Robert

Les jardins du Temps



《凱旋橋》1782-83年、ヴァランス美術館



《ティヴォリの滝》1776年、プティパレ、パリ市立美術館



《ヴェルサイユのアポロンの水浴の木立》1803年、カルナヴァレ美術館、パリ



《セプティミウス・セウェルス門のヴァリエーション》
1756年、ヴァランス美術館



《アルカディアの牧人たち》1789年、ヴァランス美術館



《サン＝ドニ教会の内部》1770-74年、ヴァランス美術館



《廃墟の中の水飲み場》1774年、ヴァランス美術館



《パラティスの丘の素描家たち》1761-62年、ヴァランス美術館

© Musée Carnavalet / Roger-Vollet
© Musée de Valenciennes / Roger-Vollet

ユベール・ロベール

— 時間の庭 —

ポンペイやヘルクラネウムの遺跡発掘に沸いた18世紀、フランスの風景画家ユベール・ロベール(1733-1808)は「廃墟のロベール」として名声を築きます。イタリア留学で得た古代のモチーフと、画家の自由な想像力とを糧に描き出されたその風景では、はるかな時を超えて古代の建築や彫像が立ち現われる一方、溢れる木々の緑や流れる水、日々の生活を営む人々がコントラストを成しています。古代への新たな関心を時代と共有しつつ、独自の詩情をたたえたロベールの芸術は多くの人々をひきつけ、時の流れや自然、そして芸術の力をめぐる思索や夢想へ誘ってきました。

こうして描かれた奇想の風景は、「国王の庭園デザイナー」の称号をもつロベールが数々の名高い風景式庭園のデザインも手がけ、現実の風景の中に古代風建築や人工の滝・洞窟などを配していたことを知れば、さらに生きた魅力をもち始めることでしょう。

本展では、世界有数のロベール・コレクションを誇るヴァランス美術館の所蔵品から選んだ貴重なサンギーン(赤チョーク)素描83点を中心として、ユベール・ロベールの芸術を、初期から晩年まで、日本で初めてまとめて紹介します。ピラネージやフラゴナルら師や仲間の作品もあわせ、他館から集めた作品とともに、約130点の油彩画・素描・版画・家具から構成されます。自然と人工、空想と現実、あるいは想像上の未来と幸福な記憶を混淆させ、画家が絵画と庭園の中に作り上げたアルカディアの秘密に迫ります。

【講演会】

3月6日(火)14:00-15:30

エレヌ・スタニスラス＝ムラン(ヴァランス美術館長)

「ユベール・ロベールとヴァランス美術館コレクション」

3月31日(土)14:00-15:30

永見文雄(中央大学教授)

「ルソーにおける自然と庭園 —— ロベール理解のために」

4月28日(土)14:00-15:30

陳岡めぐみ(国立西洋美術館主任研究員)

「ユベール・ロベール —— 奇想の風景」

会場:国立西洋美術館講堂

定員:各回先着140名

(聴講無料。ただし、聴講券と本展の観覧券が必要です。)

参加方法:当日12:00より、館内インフォメーションにて本展の観覧券をお持ちの方お1人につき1枚聴講券を配付します。

会場へは、開演の30分前からご入場いただけます。

*講演会等の内容は急きょ変更となる場合があります。詳細、最新情報は国立西洋美術館ホームページでご確認ください。

【スライドトーク】

展覧会の見どころやおもな作品について、スライドを使って解説します。

日時:3月16日(金)、4月20日(金)、5月11日(金)

各回18:00から約30分(17:30開場)

解説:陳岡めぐみ

会場:国立西洋美術館講堂

定員:各回先着140名

(聴講無料。本展の観覧券をお持ちのうえ、直接講堂へお越しください。)

国際シンポジウム「時の作用と美学」

日時・会場:4月14日(土)国立西洋美術館

4月15日(日)東京日仏学院(飯田橋駅下車)

発表者:日本、フランスの研究者・建築家・アーティスト、15名(予定)

*一般の方の参加も可。申込み方法などの詳細は美術館ホームページに掲載予定。

*東京日仏学院では、ロベール作品に着想を得たフェランテ・フェランテによる写真展「生きる石」を開催(3/6-4/15)。

お問い合わせ:東京日仏学院 03-5206-2500, <http://www.institut.jp>

【観覧料】

一般1,300円(1,000/900円)

大学生1,000円(800/600円)

高校生600円(500/400円)

* ()内は前売料金/20名以上の団体料金

*2012年1月上旬から前売券販売開始

(前売券は3月5日まで販売。3月6日以降は当日券の販売)

チケットぴあ、ローソンチケット、セブンイレブン、イーラス、JTB、国立西洋美術館ホームページ上のオンラインチケット(美術館内での前売券販売はありません。)

*中学生以下は無料

*心身に障害のある方および付添者1名は無料(入館の際に障害者手帳をご提示ください。)

*本展の観覧券で常設展示も併せてご覧いただけます。



○交通案内

〒110-0007 東京都台東区上野公園7-7

・JR上野駅下車(公園口)徒歩約1分

・京成電鉄京成上野駅下車 徒歩約7分

・東京メトロ銀座線・日比谷線上野駅下車

徒歩約8分

*駐車場はございませんので、お車のご来館はご遠慮ください。

○お問い合わせ

ハローダイヤル 03-5777-8600

国立西洋美術館ホームページ

<http://www.nmwa.go.jp/>

東京新聞ホームページ

<http://www.tokyo-np.co.jp/event/>